



社会福祉法人 恩賜財団 済生会和歌山病院

〒640-8158 和歌山市十二番丁45番地

TEL. 073-424-5185

FAX. 073-425-6485

ホームページ: <http://www.saiseikai-wakayama.jp/>

済生会

わかやま

NEWS

第4号

発行日: 2005. 1

～「基本方針」～

- 1、救急対応と急性期医療を基本に機能と特性を明確にする。
- 2、患者様の立場に立って、安全で質の高い医療を効率的に提供する。
- 3、透明性、公共性を保ち、地域社会と連携を蜜にし相互信頼を確保する。

— Information —

明けましておめでとうございます。旧年中は大変お世話になり職員一同心より感謝申し上げます。

当院もお蔭様で新病院で2年目のお正月を迎えました。これも偏に皆様もご支援の賜と存じます。

昨年一年を振り返りますと多忙な一年でした。新病院で迎えるはじめての年であり、オーダリングシステム、電子カルテの導入、全面院外処方箋の実施、救急受入体制、地域医療の強化、坂東副院長・田中内科医長・事務長・総看護師長の退職、それに替って松崎・山本両副院長・竹田事務長・半田総看護師長の就任の他、各部署への多数の新人増員は配置など新しい体制の整備と対応を実施すると共に、昨年末に医療機能評価受審という大事業も経験致しました。

経営面では一般病床稼働率の改善、平均在院日数の短縮、紹介率の上昇など良い結果を出せましたが、人件費や材料費が大幅上昇し必ずしも期待通りに参らぬ面もございました。

一方 新研修医制度発足、和医大の大学院大学、独立行政法人の移行などの影響で和医大自身が医師不足状態となり県下の病院にもその影響が及び、当院もその例外でなく医師不足に陥り多方面にわたり地域の先生方にご迷惑をおかけしたり、又これからもご迷惑をおかけするかと存じます。この点につきましても何卒ご理解の程お願い申し上げます。

これからも多難な前途が予想され皆様方のご理解、ご協力、ご支援なしには独立採算の経営基盤の脆弱な当院は生き残れません。

まだまだ未熟でございます。今後とも病院の基本方針に沿って、組織として又職員一人ひとりが行動目標を立て、医療機能評価に取り組んだ経験を活かし、職員一同一丸となって精進する所でございます。今後とも忌憚のない叱咤激励をいただきますようお願い申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。



院長 井関良夫

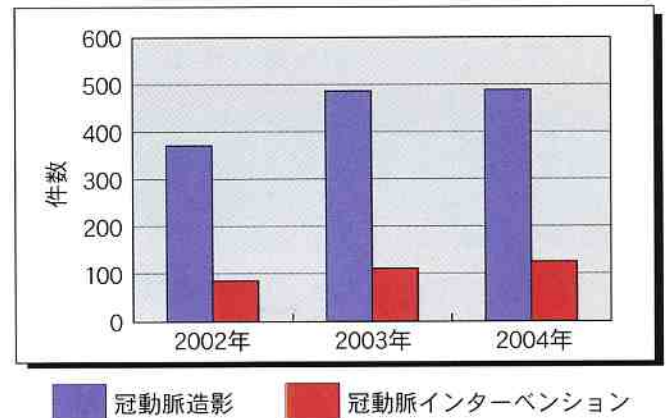
循環器科のご紹介

循環器科部長 山本 勝廣

当院循環器科のスタッフは、山本勝廣（78年卒）、木村桂三（87年卒）、阪井康仁（89年卒）の3名ですが、いずれも循環器専門医の資格を得たベテランです。

当科の入院患者の半数は、狭心症や心筋梗塞などの冠動脈疾患が占めています。基本的にはトレッドミル運動負荷心電図や負荷心筋シンチグラム検査などで虚血所見がないかを調べます。病院移転後、心臓MRI（パーヒュージョン）検査で虚血や心筋viabilityの評価が可能になりました。また、心臓専用の血管撮影装置を導入しましたので、冠動脈造影検査は、従来より検査時間が短縮いたしました。

狭心症や心筋梗塞などの中心的な治療法として冠動脈インターベンション（いわゆる風船療法）の進歩にはめざましいものがあります。しかし、長い病変、小血管、糖尿病のびまん性病変などには20～40%の再狭窄がおり、冠動脈インターベンションの最大の弱点とされてきました。最近、免疫抑制剤や抗癌剤を塗布した薬剤溶出ステントの登場で、海外での臨床試験では再狭窄率5～6%未満との驚異的な成績が報告されています。平成16年8月からこのステントが日本でも許可され、当院でも使用し、今後の再狭窄の問題が大きく改善されることが期待されています。



消化器科のご紹介

消化器科医師 文野 真樹

☆大腸内視鏡検査について☆

近年、食生活の欧米化による影響から、大腸がんによる死亡率が増加しています。

- 1、便潜血検査で陽性といわれたことがある
- 2、ご家族（血のつながりのある人）に大腸癌や直腸癌の人がいる
- 3、便に血液が混じったり、黒っぽい便が出ることもある
- 4、便秘や下痢を繰り返すなど便通異常がある
- 5、原因不明の貧血がある



などの症状に心当たりのある方は、ぜひ大腸内視鏡検査を受けて頂きたいと存じます。痔やポリープ、またすぐに治療の必要があるガンなどいろんな病気が隠れているかもしれません。これらの病気を最も確実に、早く見つけだす検査が大腸内視鏡検査です。大腸がんは普段からの検診により早期がんで見えれば、内視鏡を用いて痛みを感じることなく簡単に切除治療ができます。早期発見のためには患者さんご自身の検査を受けて頂く意識が何より大切です。

当院では、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会専門医が常駐し、検査を受けられる全ての患者さんの為に、痛みのない検査を行うことは勿論のこと、確実な診断と治療を提供できるように心がけておりますので、是非受けてみてください。

耳鼻咽喉科のご紹介

耳鼻咽喉科医長 林 正樹

常勤医1人、非常勤医2人で、月曜から土曜日まで午前中外来診療を行っています。病診連携に積極的に取り組んでおり、最近では紹介患者が増加傾向にあります。即日入院も可能で、特に、突発性難聴、めまい、急性扁桃炎、顔面神経麻痺などの入院が多く、手術は、毎週木曜日に行っており、最近では、鼻中隔彎曲症、アレルギー性鼻炎、習慣性扁桃炎、閉塞性睡眠時無呼吸症候群などの手術が増えています。



また、平成14年9月から、睡眠時無呼吸症候群の疑いのある患者に対し、当院で1泊入院のうえ、睡眠終夜ポリグラフィー検査（アプノモニター検査）を施行できる体制をとっており、これまで約30症例に実施し、その結果をもとに、必要であれば、保険適用下でNasal CPAPを導入したり、全身麻酔下で咽頭口蓋形成術を施行するなどの治療を行なっています。その他、悪性疾患などを含め、十分なインフォームドコンセントのもとに治療を行なうことを目標に診療を続けております。

放射線科のご紹介

放射線科技師長 林 宏城

平成15年10月の新病院開設を期に放射線画像のデジタル化を進めオーダリングシステム、放射線システム、画像サーバーを連携させることにより全ての放射線画像を電子保管しています。このシステム導入により各オーダー端末にて過去に撮影された画像が参照可能になりました。また撮影装置は一般撮影室2室、CT室、MRI室、X線TV室、頭腹部血管造影室、心カテ室を設け、これらの装置は24時間救急対応を考慮し救急室と同階の地下1階に設置しています。また地下2階にはアイソトープ検査室も設け、これら放射線科の設備は当院だけでなく、地域の医療機関からのご紹介いただく検査も数多くあり、紹介施設の先生方や患者さまに“安心と信頼”を得るようスタッフ一同日々頑張っているところです。



地域医療連携室から

地域医療連携室 主任 上野山 勝代
岩崎 ルリ

済生会和歌山病院では、先生方からの紹介に対して24時間受け入れを行っています。患者様受け入れの指針として

- ① 日中は地域の施設から地域医療連携室を介し電話・FAXで紹介を受け入れます
- ② 休日及び夜間は救急受付を介し、当直医師が紹介を受け入れます
- ③ 紹介患者様受け入れは病状に関わらず迅速に行います

以上の方針で全紹介患者様の受け入れを行い、地域社会に親しまれ信頼される病院を目指す所存です。

【地域医療連携室利用紹介患者数】

平成16年 8月…146人 9月…163人 10月…178人 11月…185人

のご利用を頂きありがとうございました。

済生会和歌山病院外来診療予定表

(平成17年1月1日現在)

	内科・糖尿病・内分泌・消化器科			循環器	放射線	外科・心臓血管外科		整形外科			脳神経外科	耳鼻咽喉科	腎センター	眼科	皮膚科	泌尿器科
	2診	3診	4診			1診	2診	1診	2診	リハビリ						
月	午前 山原	佐藤	井関	木村	—	重里	本田	松崎	山崎	南	松本	林	成川 椋谷	荒井	山本	—
火	午前 文野	江川		山本	—	駒井		南	金川	山崎	仲	林	成川 椋谷 外来診療	荒井	—	—
水	午前 山原	川口		阪井	野村	重里	本田	山崎	南	西田	松本	医大医師	成川	荒井	—	藤井
木	午前 文野	江川	井関	木村	—	駒井		松崎	南	金川	仲	林	椋谷	荒井	酒井	—
金	午前 川口	佐藤		山本	—	本田		山崎	金川	松崎	中川	林	成川 椋谷	宮崎	—	柑本
土	午前	当番医		木村 ／ 阪井	—	特殊外来		当番医			当番医	2.4週 林 1.3週 医大医師	成川 ／ 椋谷	荒井 (第2・4)	—	—

肝臓病教室

場 所：済生会和歌山病院 7階 多目的ホール
 時 間：午後2時～
 参 加 費：無料

肝硬変教室

月日	担 当
1月15日(土)	臨床検査技師 看護師
2月19日(土)	薬 局 リハビリテーション科
3月19日(土)	栄養管理科

※都合により、日程の変更の場合があります。

糖尿病教室

日 程：偶数月の第3木曜日・金曜日(2日間)
 場 所：済生会和歌山病院 7階 多目的ホール
 時 間：午後2時～午後3時30分

研 修 会

第21回 和歌山東臨床研究会・症例検討会

- 日時 平成17年1月29日(土) 午後3時～
- 場所 ホテルグランヴィア和歌山

第2回 地域循環器疾患懇話会

- 日時 平成17年2月26日(土) 午後4時～
- 場所 和歌山ビッグ愛

参加ご希望の方は地域医療連携室までご連絡下さい

診 療 案 内

診 察 日：月～土曜日
 受付時間：午前8時45分～午前11時(但し、予約患者様はこの限りにあらず)
 休 診 日：日・祝祭日(年末年始)
 面会時間：月～金曜日 午後2時～午後7時 土・日・祝祭日 午前10時～午後7時



交通案内

- JR和歌山駅から和歌山バス約10分「京橋」下車、徒歩すぐ
- 南海和歌山市駅から和歌山バス約5分「京橋」下車、徒歩すぐ

地 域 医 療 連 携 室

TEL (073) 424-5186 FAX (073) 424-5187